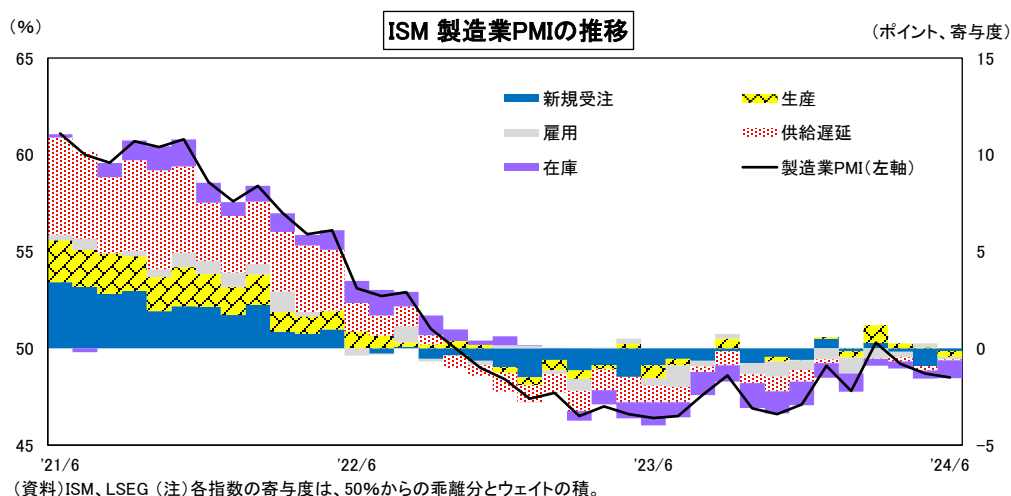
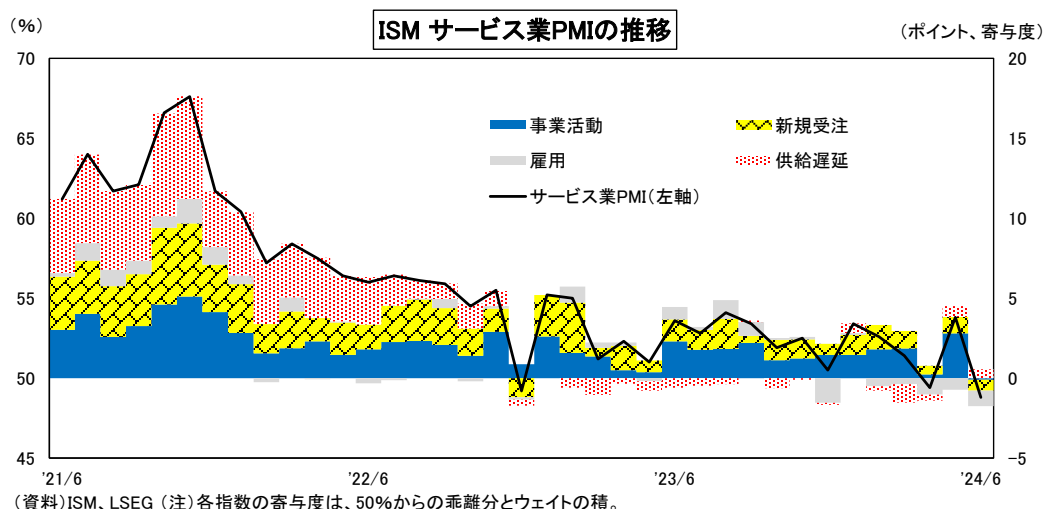


(米国)縮小傾向を示した6月のISM指数

1日に公表された6月のISM製造業指数は、前月から▲0.2ポイントの48.5%と、判断基準となる50%を3か月連続で下回り、製造業の縮小局面を示した。内訳をみると、新規受注、生産、雇用、供給遅延、在庫が同+3.9、▲1.7、▲1.8、+0.9、▲2.5ポイントとなった。それ以外の指数としては、価格指数が同▲4.9ポイントの52.1%と低下した、6か月連続で50%を上回り製造業部門の価格上昇を示しているものの、その勢いは鈍化した。



3日に公表されたISMサービス指数は、前月から▲5.0ポイントの48.8%と、判断基準となる50%を2か月ぶりに下回った。内訳をみると、事業活動が同▲11.6ポイント、新規受注が同▲6.8ポイントと低下幅が大きかった。なお、価格指数は同▲1.8ポイントの56.8%とサービス業の価格上昇傾向を示唆した。



6月のISM指数は製造業、サービス業ともに縮小傾向を示したことから、4月以降のデータで確認されつつある景気鈍化が、企業部門でも確認されたといえる。